



2025年4月23日

各 位

上 場 会 社 名 TOYOイノベックス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 田畑 禎章  
(コード番号 6210 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 執行役員経営企画室長 酒井 雅人  
(TEL 078-942-2345)

## 繰延税金資産の取崩し、通期連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）において繰延税金資産の取崩しを行うと共に2024年10月30日に公表しました2025年3月期の通期連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

### 1. 2025年3月期通期連結業績予想と実績との差異（2024年4月1日～2025年3月31日）

当期及び今後の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を取崩し、227百万円を法人税等調整額に計上いたしました。

### 2. 2025年3月期通期連結業績予想と実績との差異について

#### (1) 2025年3月期通期連結業績予想と実績との差異（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,000	△ 250	△ 80	△ 350	△ 17.04
実績値(B)	27,024	△ 521	△ 427	△ 845	△ 41.18
増減額(B-A)	△ 976	△ 271	△ 347	△ 495	
増減率(%)	△ 3.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	28,842	△ 119	△ 64	△ 1,293	△ 62.99

#### (2) 差異の理由

2025年3月期の連結業績につきましては、世界的な成形機需要の低迷や競争の激化、中国での景気減速の影響を受け、売上高は前回予想を下回る結果となりました。利益につきましても、生産量減少で操業度が低下したことによる固定費回収不足と部材価格高騰等の影響で製品原価が増大したことにより営業利益、経常利益は前回予想を下回る結果となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、これらの影響に加え、上記1に記載のとおり、繰延税金資産の取崩しに伴い、法人税等調整額を計上したことにより前回予想を大きく下回る結果となりました。

以 上